

私が、受験勉強で大切だと思ったことを書きます。

私は、最初に受けた模試が E 判定ばかりで危機感を感じ勉強しようと思いました。そこからとにかく学校で残れる時は残ろうと思い、友達を誘って進路資料室や職員室前で最終下校時刻まで勉強しました。私はなかなか家で集中できないタイプだったので、学校に残ることにより集中できて、結果に繋がったと思います。学校がない日は図書館や塾の自習室で勉強しました。家だとだらけて勉強できない人は、学校に残ることをおすすめします。

まず大切なことは、基礎をしっかり固めることだと思います。そして、できなかった部分を分からないままにしないということです。私はターゲットやスクランブルは、必ず毎日見っていました。少しの時間でいいので、放課や寝る前の時間に毎日少しずつ覚えていました。そうすることで、センターや入試では分からない単語はほぼなくなっていました。また、授業中や補習中に疑問に思ったことは、授業後に必ず聞くようにしていました。自分が 1 度間違えた問題を聞くことで頭に残り、2 回目同じ問題が出てきた時に解けるようになりました。日本史は、センター対策や補習で分からなかったところや間違えた問題を、小さいメモ帳に書き出してポケットに入れておき、隙間時間に見て覚えていました。これをやってから日本史の成績が伸びたと思います。また、先生からのアドバイスで、間違えた単語や句形、日本史の語句などを付箋に書いて部屋に貼りました。部屋に貼ることでいつでも見ることができます。そして、覚えたと思ったら付箋を剥がしました。最初は部屋にたくさんあった付箋が、最後にはなくなっていくのが嬉しかったです。

そして目標は高く持ち、途中で成績に伸び悩んでも目標は下げないでください。私自身ずっと成績が伸びている気がなくて何度も目標を下げようかと悩みました。しかし、最後まで 1 度決めた目標を貫こうと決めていたので、努力は報われると信じてひたすら勉強しました。私はこの受験勉強を通して、本当に努力は報われることを実感しました。なので、辛い時ほど前を見て、コツコツ勉強することが大切だと思います。

勉強の仕方は人それぞれだと思うので、自分にあった勉強法を見つけることが大事だと思います。皆さんが第 1 志望校に合格できるように心から応援しています。頑張ってください。

皆さんの力に少しでもなれればと思い、僕がこの受験を通して感じたことを書こうと思います。

まず、受験をまだ先とっていたり、漠然としていて分からなかったりすると思いますが、1、2 年生の内容や今やっていることを決して疎かにしないでください。しっかり取り組んでいないと、受験生になってからもっとやっておけばよかったと後悔してしまいます。まだ時間があるとは思わず、基礎を積み重ねてください。

次に、これからたくさんの模試を受けていくことになるかと思いますが、判定に一喜一憂しないでください。模試を受けて目指している学校の判定が D 判定、E 判定だと落ち込んでしまうと思います。周りの人に差をつけられているのではないかと、受からないのではないかとという不安が頭をよぎり、特に受験が近づいてくるにつれて焦ると思います。でもそこは大丈夫、最後まで諦めなければ必ず報われます。僕自身第一志望の学校は、入試直前の模試までずっと D 判定、E 判定でした。当時は本当に不安になり自信を無くしていましたが、先生方のサポートや励ましに勇気をもらい、入試直前まで頑張った結果、無事合格することができました。しかし逆に、今までずっと A 判定だった大学が不合格という結果になりました。A 判定というだけで慢心し、心に隙ができてしまうので、模試の結果に一喜一憂することなく勉強に励んでください。

最後に、常に目標を高く持ち、妥協しないでください。僕は1、2年生の時そんなに勉強ができるわけではなく、受験生になっても地元の中堅私立大学に進学できればいいと考えていたのですが、担任の先生やその他の先生の熱心な進路指導のおかげで、もっと上を目指してみようと思いました。自分は日本史が得意だったので、得意な教科を活かし学びたいことを追求できる大学に興味を持ち、志望校を関西難関私大のR大やK大にし、自分のモチベーションも上がっていきました。最初から妥協してしまえば、やる気があまり起こらず惰性的になってしまいがちなので、「自分は絶対ここへ行くんだ！」という強い気持ちを持って受験に臨んでください。

南高には気持ちよく勉強できる環境が整っています。無理をせず、精一杯頑張ってください。皆さんが高校生活を謳歌し、目指した進路に進めることを心から祈っています。

148 藤田医科大学 保健衛生学部 看護学科 合格 / 38回生 2019年(平成30年度)卒

私は文Iの看護・栄養の人に向けて書きたいと思います。

私は3年生の1学期の模試の結果の悪さに驚き、真面目に受験勉強をしようと思いました。特に苦手だった生物基礎は、夏休みまでに全部の範囲を覚えるように勉強しました。1週間のサイクルで同じことを繰り返し勉強したので、正直嫌になり大変でしたが、繰り返しやったことが結果に繋がったと思います。また、先輩からのアドバイスで付箋ノートを作りました。医療系の私大は生物基礎が難しいことが多いです。そのため付箋ノートには、補習のプリントや模試で間違えた問題、教科書の語句や式などをまとめました。付箋に書いて貼るだけなので簡単だし、すぐに確認もできるので私もおすすめします。

私は受験生には授業の予習・復習が1番大切だと思います。1、2年生のころ真面目に取り組んでこなかった私にとって、初めはとても大変でした。私みたいな人はまずは復習を重視してください。その日のうちにやると頭に残ります。特に英語は、英文の中に出てきたイディオムや英単語は必ず覚えるようにしました。英文で覚えたことで頭に残りやすかったと思います。あとはわからない問題があったら、すぐに質問にしてください。わからない問題はそのまましておかず、早めに解決するのが大切です。私は試験直前まで質問にいきました。

学校では友達と朝学をし、早弁をしてお昼の時間を使って勉強しました。友達とやることで、お互いに励まし合いながら続けることができました。家に帰ってからは図書館に行き、閉館時間まで勉強しました。図書館には他の学校の受験生も多くいたので、刺激を受けながら勉強することができたのでよかったです。

私は早めに目標を決めたことで、モチベーションを維持することができました。つらい時もありましたが、周りのがんばっているたくさんの友達を見て、自然とがんばろうという気持ちになれました。私は合格の可能性が低いと言われましたが、絶対に合格するんだという気持ちはずっと持っていました。あとはどれだけ自分がその大学に行きたいかだと思います。難しいと言われても、最後まで諦めないでください。受験は1人では乗り切れないので、周りを頼ることも大切です。大変なこともあります。最後にこの1年やりきったと思えるようにがんばってください。応援しています。

149 南山大学 総合政策学部 総合政策学科 合格 経済学部 経済学科 合格 / 38回生 2019年(平成30年度)卒

僕は、2年生まで全くといっていいほど勉強していませんでした。「国公立を目指す」と言っておきながら、中身がまるで伴っていませんでした。理系科目がまるでダメで、赤点回避が精一杯の自分は、文Iに行くしかなくなってしまいました。文系科目の点数が良かったわけでもありませんでした。

3年生になるタイミングでこのままじゃダメだと思い、少しずつ勉強を始めていきました。ターゲットやスクランブル、古典単語、日本史など、2年生まで適当にやってきたものを必死になって取り組みましたが、覚えるのにとても苦労しました。先生に積極的に質問し、帰宅後はすぐ復習するようにしました。

勉強を始めて1ヶ月後、模試で文I 2位、文系全体でも4位という成績をとることができました。センター試験を含めてマーク式の問題では、夏の模試以外、文Iでは1桁順位でした。これは、毎日の勉強の成果とドリカムや補習をサボらず真面目に取り組んだからだと思います。親身になって付き合ってくださった多くの先生方や自分が勉強する環境を作ってくれた友達には本当に感謝しています。

センターでも大きな失敗をしなかったので文系科目で受験できる国公立を受験しましたが、前期試験は不合格でした。南山に合格したこともあり前期試験で燃え尽きてしまいました。中期や後期があったにもかかわらず、気持ちが整わずに受験するのをやめてしまいました。南山に入学すると決めたことに後悔はありませんが、最後まで頑張れば国公立に合格できたのかな、という思いがあります。弱い自分に対し、腹立たしさを感じました。

僕から伝えたいことは

- ・基礎基本を大切にする
- ・授業や補習、ドリカムなどは真面目に受ける
- ・分からないことは遠慮せず先生や友達に聞く
- ・最後の最後まで頑張る

僕のアドバイスが皆さんにほんの少しでも役立てば、と思っています。

この1年を乗り切れば楽しい大学生活が待っているのです、最後までやりきってください。応援しています！

150 岐阜大学 地域科学部 合格／38回生 2019年(平成30年度)卒

私が受験生として1年を過ごしたうえで、これは行うべきだというものを三つ紹介していきたいと思います。

まず一つ目は、出来るだけ早くに目標または志望大学を決めるということです。これはこの先のモチベーションを維持していくために、とても大切なことです。また、ここでの目標は出来る限り高くすべきだと思います。高い目標を設定することで、日々の勉強に対する意欲も違ってくると思います。また、模試の結果を上手に活用すべきだと思います。模試に一喜一憂するのではなく、次へのステップだにとらえる。そして復習を出来るだけ早く行い、本番にむけてどんどんモチベーションを上げていくことが大切だと感じました。

二つ目は、授業の予習・復習をしっかりと行うことです。予習・復習なしで授業を受けても、すべてを吸収することは出来ません。勉強の効率化を図るためにも自分の分からないところをはっきりさせておくことがとても大切です。そして授業の中で出たことをもう一度整理することで、英単語や熟語などを効率よく覚えることが出来ます。最初のうちは一日が予習復習だけで終わってしまうこともあるかと思いますが、それでも大丈夫です。徹底して予習・復習を行うことをオススメします。

三つ目は、補習にはしっかりと来るようにするという事です。補習では少し難易度の高い教材も使用しています。国公立などの二次試験にも対応しています。そのような問題に早くから慣れることが大切です。私も英語が苦手でしたが、早いうちから難しめの長文を読んでおいたことで、少しずつ解けるようになっていきました。受験において問題に慣れておくことはとても大切です。センター前の冬休み補習はとても役に立ちます。時間、形式に慣れるためにも毎日参加しましょう。夏休みに志望校の赤本を解いてみて、問題の傾向を把握するのも良いと思います。

自分は主にこの三つのことを受験生の皆さんにしてほしいと思います。最後まで諦めることなく

頑張ってください。

151 岐阜県立看護大学 看護学部 看護学科 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

受験生としての1年を過ごして、大切だと思ったことを5つ伝えます。

まず、全員に向けて4つ。

1つ目は、生活習慣を崩さないことです。受験生の1番の敵は睡魔だと思います。こたつで勉強は危険です。入った途端に朝が来ます。気をつけてください。私は、生活習慣を整えるためにラジオ体操をしていました。ぜひ、やってみてください。

2つ目は、早いうちから志望校を考えておくことです。ある程度決めておいた方が、目標ができてモチベーションが上がるという利点があります。また、受験科目や配点比率を知っておくことで、どの教科に力を入れるべきかがわかります。もちろん、直前で志望校が変わることもあるので全教科勉強する必要はあります。頑張ってください。

3つ目は、自分に合った勉強法を見つけることです。友達に勉強法を聞きましたが、本当に人それぞれでした。周りの人に影響されず、自己流の勉強をすることが大切だと思います。私は、休日は図書館で勉強をしていました。勉強する人に囲まれている環境は、焦りを感じて頑張ろうと思えました。お昼ご飯は友達と食べて、勉強や他愛もない話をするので、息抜きにも励みにもなりました。受験は団体戦という言葉を実感した1年でした。

4つ目は、最後まで諦めないことです。私は、センター試験による判定がA～EのうちのDでした。合格の可能性は30%程度だと思われていました。しかし、2次で逆転が出来ました。諦めないで最後まで頑張ってください。

そして、最後に看護を志望する人に1つ。看護系の学校の受験科目に面接があることが多いです。その対策についてお伝えします。まず、学校を休まないことが好印象に繋がります。皆勤はアピールポイントになるので、出来る限り休まないことをおすすめします。面接は慣れが大切です。時期がきたら、看護ガイダンスで過去問を見せてもらえます。それを参考に、たくさん練習をしてください。私は先生方に自らお願いをして、指導をしていただくことで、緊張しなくなりました。特に、校長先生との練習は緊張しましたが、指導していただくことで自信に繋がりました。当日、笑顔でリラックスして話せるようになったのも、数多くの練習による自信があったからです。頑張ってください。

受験生は本当に大変ですが、合格したときの達成感は受験生にしか感じられません。応援しています。

152 富山大学 経済学部 経営法学科 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

私は3年生の6月下旬に部活を引退したので、周りよりも本格的な受験勉強のスタートは遅れていたと思います。3年生になると業後補習が始まるのですが、私は大会が終わるまで一度も出席しませんでした。そのため欠席している間の補習の内容は自分で勉強していました。しかし、自分の意志が弱くてやり切れなかったことが多々ありました。

そんな中でも私が大学に合格できたのは、日々の授業やテストの積み重ねがあったからだと思います。当たり前のことかもしれませんが、これが一番大切なことだと私は考えています。私は、授業で学んだことを受験勉強に役立てることが出来ました。例えば、英語の授業では英文を自然な日本語に訳す方法を学び、数学の授業では様々な問題を解きながら公式を復習することが出来ました。そして、これらは私にとってセンターや二次試験の助けとなりました。さらに定期テストや小テストに取り組むことで、授業内容を定着させることも出来ました。そのおかげで、英単語を一から復習することが楽でした。もし真面目に授業を受けていなかったら、自分は合格できなかったかもし

れません。

また、補習やセンター演習にはきちんと出席するべきだと思います。中には自分で勉強すれば良いから無駄だと考える人がいるかもしれませんが、私はそうは思いません。補習やセンター演習で学習したことは、必ずセンター当日や二次試験に役立ちます。先生方からのたくさんのサポートを無駄にするのはもったいないです。

これから受験生となる皆さんにやってほしいことが二つあります。一つ目は分からない問題をそのままにしないことです。疑問点は先生や友達に質問するなどして理解すると良いと思います。疑問点が減るにつれて、自力で解ける問題も徐々に増えていくはずですが、二つ目は体調管理です。勉強はもちろん大事ですが、体調を崩したら意味がありません。無理はし過ぎないでください。特に本番近くの体調管理はしっかりと行ってください。

この一年は、体力的にも精神的にも厳しい一年になると思います。思うように成績が伸びない時もあるかもしれませんが、それでも最後まで諦めないでください。不安なのはみんな同じです。辛くなったら先生に相談したり、友達と励まし合ったりすると気分転換になるとと思います。受験は団体戦です。一宮南高校一丸となって頑張ってください。応援しています。

153 大阪市立大学 文学部 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

僕が受験を通して大切だと感じたことをいくつか書いていきたいと思います。

まず大切なことは、目標を早めに設定することです。目標を明確にすることで、勉強へのモチベーションが上がります。何も目標がないと、何のために勉強しているのかわからなくなってしまい、勉強をしなくなってしまいます。そして、目標はなるべく高くしましょう。なぜなら、高い目標のほうが勉強を本気でやろうと思えるからです。僕も、二年生の夏ごろに第一志望校を固め、模試の判定でE判定だった時もありましたが、その大学を目指し続けた結果、合格することができました。

二つ目に大切なことは、自分に合った勉強法を見つけることです。勉強では、量より質が重要だと思います。どれだけ長い時間勉強したとしても、勉強の仕方が自分に合っていないと、勉強したことが頭に入っていなければ、その勉強は全く意味がありません。僕の場合、朝早く起きるのが苦ではなかったのですが、毎朝7時10分くらいに登校して勉強していました。そして、図書館など、人のいるところで勉強するのは苦手だったので、ずっと家で勉強していました。教材も自分に必要な分だけ使えばいいと思います。ただ闇雲にいろんな教材を買っても、使わないまま受験が終わってしまったり、使いこなすことができなかつたりするなど、せっかく買った教材が無駄になってしまうこともあります。とにかく、自分に合ったことをするのが大切です。

三つ目に大切なことは、「継続」です。いままで、「継続は力なり」という言葉は何度も耳にしてきましたが、僕は自分が受験生になるまでは、その言葉を全く信じていませんでした。しかし、受験勉強を進めていく中で、継続することの大切さを思い知らされました。僕は、2年生の頃は英語の長文を読むのがそこまで得意ではありませんでしたが、部活を引退してから長文を毎日欠かさず読み続けたことで、段々と文章が読みやすくなっていきました。しかし、数日読まなかっただけで、それまでの積み重ねがリセットされてしまい、以前の状態に戻ってしまいました。そしてその後、再び長文を読み続けたことで、また読めるようになりました。継続することは本当に大切です。受験は長くつらいものを感じるかもしれませんが、この経験は必ず今後の人生において生きるものです。最後まで諦めずに頑張ってください。

154 秋田県立大学 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 合格

/ 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

受験生として戦った1年間、僕が大事にしていた4つのことを書きたいと思います。

1つ目は、基礎から勉強をすることです。受験生になると難しい問題を解かなくちゃと思う人も多いと思いますが、まだ基礎が固まってないうちに応用問題に挑むのは、解けなくて自身をなくす可能性が高く危険です。僕は教科書や基礎的な問題集をたくさん解いていました。解けると楽しくなり自信も付いてきます。基礎ができれば自然と応用問題も解けるようになりますよ！

2つ目は、学校には毎日行くことです。受験勉強をしていると、辛くて休みたいと思うこともあると思います。しかし、そんな時こそ学校に行きましょう。学校には自分と同じように辛い勉強を頑張っている仲間がいます。不安なことも先生や友達と喋ると、気持ちが軽くなります。受験は団体戦です。自分だけでなくクラスメイトのことも考えて、学校には毎日行きましょう！

3つ目は、過去問をたくさんやることです。受ける大学が決まったら早めに過去問を解くようにしてください。過去問を解いていくと、学校ごとに毎年のように出ている単元と、全然出ていない単元がわかってくると思います。わかったらそこを集中的に勉強するだけです。あと、私立大学の過去問は年明けからではとても間に合わないので、早めに取り組んでおくのがいいと思います。赤本を買うのもいいですが、進路室には過去何年分もあるので、積極的に利用してみてくださいね！

4つ目は、僕が最も伝えたいことです。それは良くない判定が出て絶対最後まで諦めないことです。僕は最後までB判定以上は出ませんでした。センター終わった判定ではDでした。それでも自分にはできると言い聞かせていました。センターはダメでも2次で逆転はできます。そのために過去問はやりまくってください。そして、自分の夢や志望校を声に出して、友達や家族と喋ってください。そうすることで、引くに引けない状況を作ることも大切です。とって不安になることがあると思いますが、ここまで頑張ってきた自分を信じて最後までやり抜いてくださいね！

最後に、これからの1年は人生で最も辛い1年になることでしょう。しかしやりきった時には、今まで感じたことのない大きな達成感を感じます。皆さん志望校に合格できるように応援しています！頑張ってくださいね！

155 名古屋工業大学 工学部 電気機械工学科 合格／38回生 2019年(平成30年度)卒

僕は勉強が嫌いでした。そんな僕がどうやって第一志望の大学に合格できたのかを話していきたいと思います。

まず、僕は高校2年生まで全く勉強をしていませんでした。なので、何から手をつけていいかわからず、授業だけは寝ずにしっかり聞こうと思いました。今思うとこれが最も重要な事だったかもしれません。

また、英語が苦手だった僕は英語に力を入れました。英単語を覚えるということは、遠いようでもっとも英語力を高める近道だと思います。僕もターゲットを覚えた途端、英文がスラスラ読め、問題が解けるようになりました。問題が解けるようになると英語への苦手意識が薄れていきました。

次に、僕はずっと得意だった物理をさらに伸ばそうと考えました。僕は難しい問題を解きたいと思い、重要問題集をやり始めました。しかし、重要問題集はレベルの高い大学の問題が多く、最初の方はすぐ手付かずになってしまいました。最初は身の丈にあった問題集を使うのが良いと思います。得意科目が1つでもあると大学受験はとても有利になります。僕は二次試験で、英語を失敗してしまいました。しかし、物理がとてもよくできたので合格できました。苦手をカバーできるほどの得意科目があるといいですね。

センター試験についてですが、僕はセンター試験で失敗しました。理系科目は出来るだろうという過信から、理系科目のセンター演習を疎かにしてしまいました。結果的に、理系科目は7割くらいしか取れませんでした。僕の経験上、センター試験の勉強はまんべんなくやった方がいいと思います。

また、二次配点の高い大学を受ける人は、センター試験での判定が良くなくても諦めてはいけません。僕はセンター試験での判定はD判定でした。この判定を突きつけられた時、僕の気持ちに火がつかしました。そこから死にものぐるいで勉強して、合格に辿り着きました。受験勉強において、妥協や

諦めは絶対にしてはいけないと僕は思っています。

これから受験勉強する人達は僕の言ったことを頭の片隅にでも留めてくれたら幸いです。みなさん応援しています。あなたの未来に栄光あれ。

156 富山大学 都市デザイン学部 地球システム科学科 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

僕が受験を通して学んだことを書いていこうと思います。

1 つ目は諦めないことだと思います。自分は高校 1 年生や 2 年生の時、決して成績優秀と言えるような生徒ではありませんでした。3 年生最初の模試も E 判定ばかりでした。秋の模試まで英語で 3 桁をとったこともありませんでした。更に絶対に受かると思っていた安全校の私立に落ちてしまったこともありました。しかし、どんな場面でも自分は諦めず、切り替えて次の課題に取り組むようにしていました。今思えば最後まで諦めなかったから、国公立に合格できたのだと思います。

2 つ目に朝学と補習はなるべく参加する方がいいと思います。朝学は朝型の生活に変えることができるし、勉強時間も増やせるからです。そして補習に関して一番の要となるのは、夏の補習に参加することだと思います。どうしても暑い日だと家であまりやる気が起こらない時があると思います。そんな時も補習に行けば嫌でも勉強する雰囲気になるので、夏休みをとっても有効に活用できると思います。

3 つ目に他人に流されすぎないことです。受験は団体戦だと言われます。確かにその通りであり、仲間と共に乗り越えていくものです。仲間がいれば互いに励まし合い、時に慰め合う事で受験を乗り越えられるでしょう。しかし、自分は成績が上がってないのに、他の人はどんどん上がっていったりもします。その時周りに流され、自分だけが取り残されているかのようになるかもしれません。人の成績の上がり方には個人差が大きくあり、早く出る人から最後に出る人までいろんな人を見てきました。なので、あまり他人のことを深く考えないようにした方がいいです。

そして最後は南高生であることに誇りを持ってほしいということです。南高には生徒のために尽力し、雰囲気高め、いろいろな指導をしてくれる先生方がいます。学習するにはもってこいの環境が全て揃っているので、是非無駄にすることなく勉強に取り組んでほしいと思います。最後まで諦めず頑張ってください。応援しています。

157 福井大学 工学部 電気電子情報工学科 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

僕が受験の時に大切だと思うことをいくつか書いていこうと思います。

1 つ目は得意科目、苦手科目を見つけることです。得意科目があると、テストや模試でも自信に繋がります。苦手科目を見つけたら、苦手意識をなくせるようにコツコツと頑張っていくと、その分だけ力はついていきます。

2 つ目は英語を少しずつやっていくことです。英語は覚えることが多く手をつけにくい教科ですが、大切な教科なのでやらなければなりません。そこで、少しずつやっていくためには、友達と一緒に覚えていくことがオススメです。友達と一緒にやっていると 1 人でやるより頭に入ると思います。英語だけでなく単語系全般やるといいと思います。

3 つ目はメリハリのつけ方です。勉強をされていて 1 番集中を欠くものはスマホだと思います。時間を決めて触らないようにすることができる人は大丈夫ですが、触ってしまう人は全く集中が出来ないと思います。僕もそうだったので、物理的に触れない場所に置いて、勉強をしていました。集中を欠くものがそばにあるとないのでは全然違うので、効果があがると思います。また、ずっと集中できる人もいないし、日を重ねるごとに疲れは溜まっていくので、夜はしっかり睡眠をとることも大切なことです。

4 つ目は二次試験を受ける人はセンター後に気を抜かないことが大事です。センターが終わると、

勉強に対してのモチベーションがものすごく下がります。そこでどれだけ頑張れるかが、国公立大学に合格するかしないかの分かれ道になると思います。

最後に、模試が何回かありますが、模試の結果が良くても悪くても大事なのはその後です。模試の復習をしっかりし、再度似た問題がでた時に解けるようになれば、その模試に意味はあると思います。模試の結果が悪かった人も、センター本番に取れば良いので直前まで頑張ってください。

158 富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

僕がこの三年間で実感したことは、予習と復習の大切さです。

僕は中学の時は、予習と復習が習慣にならず、高校でもなかなか習慣化できなかったもので、授業に置いていかれました。一つでも欠かすと中学と違い、前日の授業の内容が曖昧になってしまいます。

予習は、初めのうちは次の授業に習う場所の教科書を読むだけでもいいと思います。慣れてきたら細かく調べたりするといいと思います。復習は授業でとったノートを読み返し、問題を解くと、とてもいいです。

この学校の先生はとても熱心に教えてくださるので、3年間しっかり頑張れば、自分の行きたい大学に行けます。絶対にさぼらないでください。

159 岐阜大学 工学部 機械工学科 知能機械コース 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

僕はサッカー部に所属していました。サッカーに夢中で、1年生のころはもちろん2年生の途中まで全然勉強しておらず、定期テストでも順位は半分より下でした。実は、一宮南高校に受かったことも奇跡なんじゃないかと思ってたくらいでした。しかし、今では一宮南高校に来て本当に良かったと思っています。

さて、勉強の話に戻りますが、2年生の南高祭が終わった後から本格的に始めました。僕は、まず得意でかつ好きな数学から頑張りました。今思うと、最初に数学を頑張った良かったと思うので、理系の人は数学の受験勉強から始めることをお勧めします。数学と言っても何から始めるかという、まずは定期テストで満点を目指して勉強すると思います。もちろん、それでも満点は簡単には取れないと思うので、8割から9割と成長できていれば十分だと思います。また、定期テストの数学を頑張れば他の教科も頑張ることで、全体の順位が上がります。そうすれば、自信や達成感を感じて、やる気が出ると思うので良い勉強のサイクルができます。

苦手だった英語の勉強は、3年生から本格的にしました。4月の模試では3割しか取れなかったのですが、センターでは7割取ることができました。英語で頑張ったことは、スクランブルとターゲットです。やり方は毎日ノルマを決めて進めることです。スクランブルもターゲットも授業でテストがあるため、それに合わせてノルマを決めるのもいいと思います。暗記の仕方は人それぞれなので、いろいろなやり方を試すのもいいかもしれません。僕のやり方は毎日寝る前に時間を作り、ターゲットは1日100単語、スクランブルは10ページずつ行いました。それでもすぐには伸びないと思うので、結果が出なくてもめげずに頑張ってください。

また、英語は先生にとってもお世話になりました。先生にいろいろ相談したり、授業後にわからないところをよく質問に行ったりしました。そのおかげもあり、前は英語が好きではありませんでした。今ではとても好きになりました。

これを読んで、後輩のみんなに少しでもプラスになったら嬉しいです。応援しています。

160 名古屋大学 理学部 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

受験において大切なことはたくさんありますが、終えてみると特に大事なものは、高い目標を持つことと

最後の最後まで諦めないことだと思います。

まずは高い目標を持つことです。私の場合、一年生の時はなんとなく勉強を頑張っていました。二年生の時は常に理系トップを狙っていました。得意だった数学と物理は、常に100点を取るイメージで定期テストに挑んでいました。達成できるかは別として、高い目標を持って努力することは大切だと思います。三年生になってからも、レベルの高い大学を目指して、とにかく合格する自分を想像しまくっていました。

二つ目は最後まで諦めないことです。これはよく言われることだし、皆さんも耳にタコかもしれないけど、やっぱり何だかんだ一番大事なことだと思います。私が一番身をもって実感したことです。この受験期、自分は絶対合格できると自分を洗脳させ続けてやってきましたが、それでも諦めそうになった時は何度もありました。効率が悪い私は睡眠時間を削りすぎていっぱいいっぱいになってしまったり、他の人と比べてなんで私は…と落ち込んだり、全部休みたくなったり、うまくいかない自分を責めたり…。でも、諦めなくてよかったです。最後の最後まで挽回は可能です。私はセンター試験がD判定で、諦めそうでした。でもこのままでは悔いが残ると思い、結局第一志望校に出願しました。さらに二次試験では、苦手だった化学が全く分からずほぼ白紙で、落ちた…と思って魂が抜けたように家に帰りました。しかし、次の日にまだ数学と国語の試験が残っていたので、まだ挽回しなきゃと気合を入れ直し、2日目の科目の最終準備をしっかりと行いました。そこまで頑張り尽くせると、もし落ちて第二志望の大学に行くことになったとしても、楽しい大学生活が送れると思います。私は二次試験終了後、落ちただろうなと思ったけど、なぜかすごくスッキリした気持ちで、後期の勉強に向かいました。結果的に合格していたので、もちろんすごくよかったです。でももう悔いはないという感じでした。まだ挽回できる！は試験終了の最後の最後まで通用すると思います。皆さんも悔いを残さないように、最後まで諦めずに頑張ってください。

161 岐阜大学 工学部 化学・生命工学科 物質化学コース 合格／38回生 2019年(平成30年度)卒

私は受験を経験した中で大事だなと思ったことを3つ伝えたいと思います。

まず、授業の復習をしてください。特に数学は予習もたくさんありますが、予習に気をとられすぎて復習をおろそかにしてしまうと、類似問題が出てもなかなか解けるようになりません。私はそれでかなり苦勞しました。時間がなくてもどんな解き方だったか見返すだけでもやらないよりは絶対になるので、なるべく早い時期から毎回復習する習慣をつけてください。

次に授業や補習はさぼらずしっかり受けてください。授業や補習でやった問題が次の日の試験でそのまま出たりします。補習ではたくさん演習もつめるし、忘れていた部分を復習できるので、とれる補習はできるだけとってください。また、わからないところがあたらなるべく早く先生に質問してわからない部分を解消してください。先生方はわかるまで丁寧に教えてくださるので、遠慮せずにごんごん質問してください。

最後に友達と励ましあいながら受験を乗り切ってください。受験の1年はすごくつらいし勉強したくないと思うときもたくさんありますが、そんなときに友達が必死に頑張っている姿を見たり、自分がつらいときに言葉をかけてもらったりすると自分も頑張らなきゃなと思うことができます。もし友達の心が折れそうなきときは声をかけてあげてください。また、模試の点数が最後まで伸びなくても、めげずに勉強に取り組んでください。私は記述重視の大学を志望していましたが、最後の記述模試の判定がすごく悪かったので、その志望校が厳しく、センター後の進路相談で志望校を変えるかかなり悩みました。しかし諦めたら後悔すると思い、志望校に挑戦し頑張った結果、記述の判定をひっくり返して志望校に合格することができました。努力は必ず実を結びます。めげずに最後まで努力してください。

志望校に合格したときの喜びは忘れられないものになり、つらかったけど頑張ったよかったです。1年間つらい、不安と感じると思いますが最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

- 睡眠時間は、多く必要な人と少ししか必要ない人がいるので、自分にあった時間を探す(自分は少なくとも 6 時間多くても 8 時間)。
- 予習はサボらないほうがいい。
- 苦手科目の対策は最優先にするべき。
- 暗記は寝る前にする。
- 夏休みは苦手科目を対策する最後のチャンス。
- 冬休みは今までやったことの復習重点。
- 本番後によく出来た/出来なかったと思ったところで終わったものはどうしようもない、感触と実際の結果はかなりずれたりずれなかったりする、など何もいいことがないのでちゃっちゃと切り替えて次に向けて動こう。
- 英語
 - 長文は余裕があれば毎日やりたい。センター長文は感覚で読んでもいいが、二次長文では文法を意識しないと読みにくいので、日頃から文法を意識して線や印をつけながら読む(and で並列になっているものに同じ下線、関係代名詞は()でくくる、など)。
 - リスニングは毎日聞く。自分は息抜きとして使った。YouTube(TED-Ed やディスカバリー・チャンネル)やNHK 総合の 19 時と 21 時にやるニュースの副音声など。
- 国語
 - 漢文では絶対に点をとる。
 - 漢文は参考書 1 冊をしっかりとやればできるようになる。夏休み前にやれば気持ちに余裕ができる。
 - 古典は単語と助動詞。
 - 現代文は文を読むことから逃げないで根気よく戦う。
 - 解説をよく読む。
- 数学
 - 計算ミスには真摯に向き合う。
 - チャートはコンパス 3 以上の例題を理解する(2 以下はできて当然基礎レベルなので)。
 - 一通りやってから苦手な範囲を別の問題集などで重点的にする。
 - 計算ミスから逃げるな。
 - 計算ミスはどんなミスり方が多いかを分析して対策。
 - 読みやすい字を早く書けるようにしよう。
 - 図を描く練習をしよう。
 - 自分で考えて答えを出そうと努力する。
- 理科
 - 物理：現象把握する。
 - 図は大きく丁寧に。
 - どうしても苦手な分野は復習を頻繁にして直前に見直してなんとかする。
 - 化学：無機有機は頑張って覚える。
 - 有機はさらに思考する力をつける。
 - 理論は典型問題を解けるようにする。
 - 化学の計算は典型的なものが多いから復習を大切にする。
- 社会
 - 倫理：人と語を結びつけて覚えてから、言葉の内容を理解する。
 - 内容を思考する力も必要。

現代文の練習にもなるかもしれない。

政経：暗記。

163 名古屋大学 農学部 生物環境科学科 合格
同志社大学 生命医科学部 医工学科 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

自分の経験から受験においてのポイント、センター試験を中心に書こうと思います。

まず初めに、受験で一番大切なのはセンター試験だと思います。自分の志望校はセンター試験で何点必要なのか、どの教科で何点取るかの目標を決めてください。

次に点を取るポイントについて書きます。

1つ目は、目標点に近づけるためには基礎を身につけて、ケアレスミスに気をつけることです。同じ志望校の受験生なら学力は同じくらいです。だからセンター試験でも二次試験でも、他の受験生が解けない応用問題で点を取りに行くよりも、他の受験生が点を落とさないような問題でミスをしたくないの方が大きいです。まずは、教科書やチャートなどの問題集を繰り返しやり、基礎を身につけるのがオススメです。自分は記述模試のときに(1)で計算ミスをしてしまい、大問丸ごと不正解になったこともあります。なので、もし計算ミスをして、そのまま先に進まないように確認する癖をつけることが大切です。

2つ目は、苦手な教科を無くすことです。誰にでも1つは苦手な教科があると思います。僕は英語がとにかく苦手でした。苦手を克服するには毎日コツコツやるしかありません。苦手教科の中でも、単元ごとに分けて潰していくのがいいと思います。

3つ目は過去問についてです。センターの過去問は冬休み前から5~10年分ずつやりました。毎年同じ問題形式なので何年分もやると慣れてきます。二次試験の問題はセンター試験前だと殆ど解けなかったのがセンター試験後に始めましたが、それでも5~15年分ずつやりました。

まとめとして、志望校を目指すには最優先なのはセンター試験です。センター試験で十分な点数が取れないと出願すら出来ません。実際、第1志望の学科は10点ほど足りず、学科を変えるか、大学を変えるかの選択に悩みました。二次試験が終わってみると、たった10点でも逆転するのがかなり厳しいことだとわかりました。

最後に、模試の結果で落ち込んだり、途中でやる気が無くなったり、勉強から逃げたくなることもかなりありました。そんなときでも南高の先生方は授業や補習に凄く力を入れてくれます。さらに教え合える仲間もいます。先生や友達をフルに活用して、志望校合格を目指してください。全力で頑張ってください。

164 三重大学 生物資源学部 共生環境学科 合格 / 38 回生 2019 年(平成 30 年度)卒

よく夏休みを超えたら一気に伸びてくると言われていますが、私の場合全然伸びませんでした。模試の結果もあまり良くなく、本当に大学に行けるのだろうかと思っていましたが、もしかしたらこの先伸びるかもしれないという思いでずっと勉強していました。

私は元々勉強があまり得意でなく特に理系教科を苦手としていましたが、将来の進みたい方向が理系であったので理系に進みました。クラスには理系科目が得意な人が多く、日々不安でした。少しでもみんなに追いつくために、私は質より量を意識して勉強しました。

朝は7時半までには登校して進路室前の廊下で勉強し、授業後も最後まで残って勉強していました。そうやって毎日毎日勉強して、やっと伸びたなと思えたのは12月上旬のセンタープレテストでした。

センタープレテストでは前回の模試よりも100点も伸ばすことができました。嬉しかったですが、たまたまだと思い、そこからずっと勉強していました。そして本番のセンターでは自己最高得点を取ることができました。

私の好きな言葉に「努力したものが遠くへ行く」という言葉があります。その言葉の通り、最後まで諦めずに努力した人は必ず満足いく結果を残しています。この1年で本当に努力は報われるのだと思いました。これから受験勉強を始めるにあたって、辛かったり嫌な思いをしたりすることが沢山あると思います。例えば自分は勉強しているのに他の人たちが喋っていてうるさかったり、課題を真面目にやってない人が自分よりも成績が良かったり、など。それでも、そんな環境に耐え、コツコツやってきた人が必ず受かります。最後まで自分を信じて頑張ってください。